福井工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	歴史学特講

科目基礎情報

科目番号	0065	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	機械工学科	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	適宜プリントを配布する		
担当教員	木村 美幸		

到達目標

福井県の歴史を通じて近現代史を理解し、福井県の今後について考えることができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	福井の歴史から近現代史の動きを理解し、適切かつ端的に説明することができる。	福井の歴史から近現代史の動きを理解し、ある程度説明することができる。	福井の歴史から近現代史の動きを理解し、説明することができない。
評価項目2	歴史的な事象について、合理的かつ適切に説明することができる。	歴史的な事象について、適切に説明することができる。	歴史的な事象について、説明することができない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 RA1
JABEE JA1

教育方法等

概要	歴史は中央で起こっていることのみではなく、地方で起こっていることも含めて考えていくことが重要である。このため、本校の立地する福井県の近現代史を事例に、身近な地域の歴史から近現代史について考えたい。
授業の進め方・方法	福井の近現代史について、レジュメを主として授業を展開する。授業はまずはじめに福井市域周辺について説明した上で、個別の地域の歴史に焦点を当てて授業を進める。
注意点	中間・期末レポートと授業ごとに提出の課題の内容から総合的に判断する

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	福井県域の前近代	福井県域の古代～近世までの概要について理解し、説明することができる。
		2週	越前松平家の幕末維新　①越前松平家と幕府	越前松平家が幕末においてどのように活動したのか理解し、説明することができる。
		3週	越前松平家の幕末維新　②越前松平家の明治時代	福井藩の明治維新について理解し、説明することができる。
		4週	観光と福井	福井の交通網の発達と観光について理解し、説明することができる。
		5週	戦災・震災と福井県　①福井空襲	福井県域（特に福井市域）の戦災被害と、ついて理解し、説明することが出来る。
		6週	戦災・震災と福井県　②福井地震	福井地震における被害と戦後復興について理解し、説明することができる。
		7週	鯖江の軍隊と戦争　①鯖江36連隊の戦争	鯖江におかれた36連隊について理解し、説明することができる。
		8週	鯖江の軍隊と戦争　②鯖江の連隊と慰霊	鯖江における慰霊と顕彰について理解し、説明することができる。
	2ndQ	9週	敦賀港の近代　①敦賀港と貿易	敦賀港に関する基本的な事項を理解し、説明することができる。
		10週	敦賀港の近代　②杉原千畝と敦賀	杉原千畝がどのような世界情勢の中で活動し、ビザを発給したのかを理解し、説明することができる。
		11週	佐久間勉と第六潜水艇事故　①事故の発生と海軍内における事故調査	第六潜水艇事故がどのように起こったのかを理解し、説明することができる
		12週	佐久間勉と第六潜水艇事故　②顕彰活動	佐久間勉をめぐる顕彰活動について理解し、説明することができる
		13週	平泉寺村と戦争　①平泉寺村の徴兵・赤紙	どのように出征が行われていったのかについて理解し、説明することができる。
		14週	平泉寺村と戦争　②平泉寺村と海軍志願兵	海軍志願兵について理解し、説明することができる。
		15週	地域の歴史を伝えるために	地域の歴史を伝える様々な活動について理解し、自らがそこにどのように関われるか考えることができる
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	公民的分野	自己が主体的に参画していく社会について、基本的人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な政治・法・経済のしくみを説明できる。	3	前12,前13,前14

			現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題･レポート	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0